

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 : BMP4,7 阻害ペプチド (Noggin-like ペプチド)

会社名 : ペプチグロース株式会社
住所 : 東京都千代田区丸の内二丁目 6 番 1 号
担当部門 : 開発部
電話番号 : 070-4503-1497
メールアドレス : yosuke.ushimaru@peptigrowth.com
緊急連絡先 : 070-7593-7317

【製造会社】

会社名 : ペプチドリーム株式会社
住所 : 神奈川県川崎市川崎区殿町 3-25-23
電話番号 : 044-270-1272

推奨用途及び使用上の制限
: 試験研究用

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

可燃性固体	分類できない
自然発火性固体	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない
金属腐食性化学品	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性 (経口)	分類できない
急性毒性 (経皮)	分類できない
急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない
急性毒性 (吸入: 粉塵)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	分類できない
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期 (急性)	分類できない
-----------------	--------

	水生環境有害性 長期 (慢性)	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない
ラベル要素		
絵表示又はシンボル	: なし	
注意喚起語	: なし	
危険有害性情報	: なし	
注意書き	:	
【安全対策】	使用前に本 SDS の記載内容を良く読み、理解した上で取扱うこと。 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 粉塵、ヒュームを吸入しないこと。 取扱い後、手、顔等をよく洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。	
【応急措置】	<u>吸入した場合</u> 、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは、医師の診察、手当を受けること。 <u>皮膚に付着した場合</u> 、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗い流すこと。皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診察、手当を受けること。 <u>眼に入った場合</u> 、流水で少なくとも15分間注意深く洗い流すこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当を受けること。 <u>飲み込んだ場合</u> 、意識がある場合は水で口をすすぐこと。気分が悪いときは、医師の診察、手当を受けること。	
【保管】	-20℃で保管すること。	
【廃棄】	内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。	

3. 組成・成分情報

化学物質・混合物の区別	: 化学物質
化学名	: BMP4,7阻害ペプチド (Noggin-likeペプチド)
化学式	: C ₁₃₈ H ₁₆₇ N ₂₅ O ₃₇ S
分子量	: 2800.05
CAS番号	: 未登録
濃度範囲	: 98%以上
官報公示整理番号	: 化審法 新規化学物質 安衛法 新規化学物質
GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物	: 情報なし

4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは、医師の診察、手当を受けること。
皮膚に付着した場合	: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗い流すこと。皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診察、手当を受けること。

- 眼に入った場合 : 流水で少なくとも15分間、注意深く洗い流すこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 意識がある場合、水で口をすすぐこと。気分が悪いときは、医師の診察、手当を受けること。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者は状況に応じて、保護手袋、保護衣、保護眼鏡などを着用すること。製品が皮膚や眼に接触しない様にする。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水噴霧、耐アルコール性泡、炭酸ガス。粉末
- 使ってはならない消火剤 : 棒状水
- 特有の危険有害性 : 火災により、有毒な分解生成物を発生する可能性がある。
- 特有の消火方法 : 火災区域を隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止すること。消火作業は風上の安全な場所から行うこと。危険でなければ火災区域から容器を移動すること。容器を移動できない場合は、密閉容器及び周辺を水噴霧により冷却すること。消火に用いた汚染水は回収し、下水、水系に流さないこと。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、自給式呼吸器を装着した防護服を着用すること。製品が皮膚や眼に接触しない様にする。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 漏出区域を隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止すること。作業者は保護具（「8. 暴露防止及び保護措置」の項を参照）を着用すること。漏出区域を換気すること。粉塵を吸入しないこと。眼、皮膚に付着させないこと。
- 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。漏出物を直接河川や下水に流さないこと。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 漏出物を掃き集め、密閉できる空容器に回収すること。
- 二次災害の防止策 : 危険でなければ、漏れを止めること。

7. 取扱い及び保管上の注意

【取扱い】

技術的対策（局所排気・全体換気等）

- : 使用前に本SDSの記載内容を良く読み、理解した上で取扱うこと。作業者は「8. 暴露防止及び保護措置」の項に記載の設備対策を行い、保護具を着用すること。取扱いは換気のよい場所で行うこと。粉塵を吸入しないこと。眼、皮膚、衣類への付着を避けること。

安全取扱注意事項 : みだりに粉塵が発生しないように取扱うこと。

接触回避 : 「10. 安定性及び反応性」の項を参照のこと。

衛生対策 : 取扱い後、手、顔等をよく洗うこと。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

【保管】

安全な保管条件

- 適切な技術的対策 : 保管場所には貯蔵又は取扱いのために必要な採光、照明、換

混触禁止物質	: 情報なし
適切な保管条件	: 日光を避け、 -20°C で保管すること。換気のよい場所で保管すること。
安全な容器包装材料	: 法令の定めるところに従うこと。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	: 電気、換気、照明等の機器を設置すること。排気、換気装置等を設置すること。本製品を貯蔵又は取扱う作業場所には、洗眼器と安全シャワーを設置すること。
管理濃度	: 未設定
許容濃度	: 未設定 なお、日本産業衛生学会(2021年)で、 2 mg/m^3 (吸入性粉塵)の数值がある。
保護具	
呼吸器の保護具	: 防塵マスク、送気マスクなど着用すること。
手の保護具	: 保護手袋を着用すること。
眼の保護具	: 保護眼鏡 (ゴーグルタイプ) を着用すること。
皮膚の保護具	: 保護衣、安全靴を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体 (粉末)
色	: 白色
臭い	: データなし
融点/凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: 適用外
溶解度(水溶解度)	: データなし
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: データなし
相対ガス密度 (空気=1)	: 適用外
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 情報なし
安定性	: 推奨された保管条件下で安定である。
危険有害反応可能性	: 情報なし
避けるべき条件	: 日光、高温の表面、熱、火花、裸火、湿気

混触危険物質 : 情報なし
 危険有害な分解生成物 : 燃焼により、有毒な分解生成物を発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性（経口） : データなし
 急性毒性（経皮） : データなし
 急性毒性（吸入：蒸気） : データなし
 急性毒性（吸入：粉塵） : データなし
 皮膚腐食性／刺激性 : データなし
 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : データなし
 呼吸器感作性 : データなし
 皮膚感作性 : データなし
 生殖細胞変異原性 : データなし
 発がん性 : データなし
 生殖毒性 : データなし
 特定標的臓器毒性（単回暴露） : データなし
 特定標的臓器毒性（反復暴露） : データなし
 誤えん有害性 : データなし

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性） : データなし
 水生環境有害性 長期（慢性） : データなし
 オゾン層への有害性 : モントリオール議定書の附属書に列記されていない。
 残留性・分解性 : データなし
 生体蓄積性 : データなし
 土壌中の移動性 : データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄する場合は、国、都道府県、市町村の規則に従うこと。都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託すること。廃棄物は適切な状態で保管すること。下水や水路に排出しないこと。
 汚染容器及び包装 : 容器は清浄にしてリサイクルするか、国、都道府県、市町村の規則に従って適切な処分を行うこと。容器を廃棄する場合には内容物を完全に除去した後に処分すること。

14. 輸送上の注意

国際規制
 海上輸送情報 : 該当しない。
 航空輸送情報 : 該当しない。

国内規制

陸上輸送情報	: 該当しない。
海上輸送情報	: 該当しない。
航空輸送情報	: 該当しない。
特別な安全対策	: 運搬に際しては容器からの漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損のないように積込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。冷凍輸送が望ましい。適用法令の定めるところに従うこと。

15. 適用法令

化審法	: 試薬 (法第3条第1項第3号)
-----	-------------------

16. その他の情報

参考文献：ペプチドリーム社の SDS

GHS 対応ガイドライン分類マニュアル (2015 年) (独立行政法人 製品評価技術基盤機構)

GHS 対応ガイドライン (2019 年 6 月) (一般社団法人 日本化学工業協会)

JIS Z 7252 (2019 年)

JIS Z 7253 (2019 年)

<記載内容の取扱い>

本 SDS は現時点で入手できた資料や情報データ等に基づき作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険有害性等に関して、いかなる保証をするものではありません。

また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたもので、特殊な取り扱いの場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上、本製品をご使用またはお取り扱い下さるようお願いします。